

## メディア利用時間と 家庭の意識調査

総務省が本年度取りまとめた「情報通信白書令和2年版」で、令和元年における個人のインターネット利用率が89・8％に上ると公表された。これは、大多数の国民の暮らしの中にスマホやパソコンといったメディアが浸透していることも意味している。

子どもたちが将来、社会を生き抜いていく上で、メディアを使いこなせることは必須だ。来年から1人につき1台パソコン端末が配備されれば、子どもたちとメディアの距離はもっと近くなっていく。現在、子どもたちは家庭でどのようにメディアを利用しているのだろうか。

平成31年2月に市教育委員会が実施した「市内小学生のインターネットに関するアンケート調査」と本年6月に御前崎小学校PTAが同校で実施したアンケート「親から子どもに伝えたいメディアのメリットとデメリット」から利用実態

や子どもと保護者のメディアに対する考えを探る。

### 長時間利用が大半 趣味での用途が多い

「平日のインターネットやゲームの利用時間」は、▼1～2時間が25%▼2～3時間が30%▼3～4時間が22%で、帰宅後に家庭学習をしなくてはならない中でもインターネットやゲームに費やす時間が多いことがわかる。特筆すべきは、4時間以上利用している子どもが12%もいることだ。

「休日のインターネットやゲームの利用時間」は、▼2～3時間が21%▼3～4時間が30%▼4時間以上が30%で、平日に比べて長時間化している。

「インターネットやゲームの利用時間帯」は、▼日中が27%▼19時～21時が30%▼21時～23時が24%で、19時～23時までの利用が半数以上を占めている。

「使用メディア(小学生)」は、▼スマホ17%▼パソコン12%▼タブレット16%▼ゲーム機20%で、それぞれ家庭で使われている主要

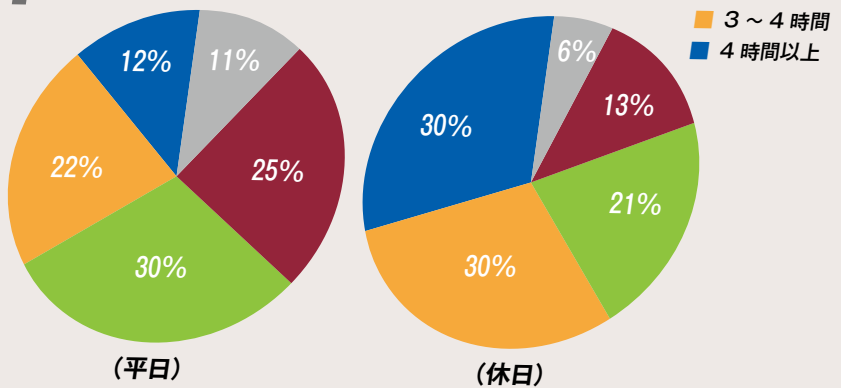


市教育委員会と御前崎小学校 PTAが実施したアンケート結果から子どもの利用実態と子どもや保護者のメディアに対する考えが見えてきた

# を探る

## 1

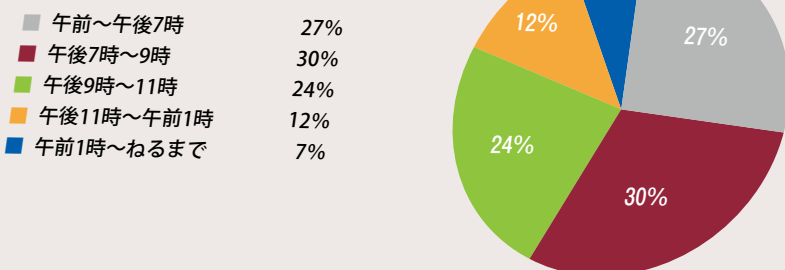
### インターネットやゲームの利用時間



3人に1人が  
平日でも3時間以上利用

## 2

### インターネットやゲームの利用時間帯



## メリット

#### 【タブレット】

- ・調べものができる【子】
- ・英語のレッスンができる【子】
- ・学習アプリで勉強できる【親】
- ・子どもと連絡が取れる【親】

#### 【Youtube】

- ・見ているだけで楽しい【子】
- ・最新ニュースを知る【子】
- ・映像で理解できる【親】
- ・親子で一緒に遊びができる【親】
- ・親が教えなくても自分で調べて知識を得ている【親】
- ・いろんなことに興味を持つきっかけになる【親】

#### 【Nintendo switch】

- ・勝ったときすごくうれしい【子】
- ・友達と一緒にできて楽しい【子】
- ・友達と情報交換できる【子】
- ・家族で遊ぶことができ会話が増えた【親】
- ・たまの息抜きになっている【親】
- ・ゲーム以外のことも聞くことができ便利【親】

#### 【LINE】

- ・友達との仲が深まった【子】
- ・友達と連絡がとれる【子】
- ・仲間と連絡を取り合い、休校中のモチベーションになった【親】